

研究開発課題概要（事前・中間評価）

1. 課題名（期間）

地区レベルでの防犯性向上に関する研究

2. 主担当者（所属グループ）

樋野公宏（住宅・都市研究グループ）

3. 背景及び目的・必要性

年々悪化する治安に対し、防犯の視点を取り入れた住宅の開発が進められつつあるが、個別建物の防犯対策にあわせ、複数の建物、道路、公園などを含めた地区レベルでの防犯対策についても、その必要性が認識されつつある。米国では、従来の CPTED（防犯環境設計）に「地域社会の育成」という視点を加えた「第 2 世代 CPTED」と呼ばれる考え方が発展しており、地区レベルの防犯、物的環境の維持管理段階での防犯を進めるに当たって、我が国のまちづくりに示唆するところも多い。

このような背景を鑑み、本研究は、ハード・ソフトを組み合わせ、地区レベルでの防犯性評価手法を開発するとともに、改善のためのガイドラインを提示することを目的とする。

4. 研究開発の概要・範囲

- ・ 住民参加型の事例調査等による地区レベルの犯罪及び不安感発生要因の分析
- ・ 海外諸制度の整理分析、第 2 世代 CPTED 適用事例の研究
- ・ 地区レベルでの防犯性評価手法の開発と試験的運用
- ・ 自治体アンケート調査等による防犯性向上ガイドラインの作成（先進事例集含む）

5. 達成すべき目標

- ・ 地区レベルでの防犯性評価手法の開発
- ・ 防犯まちづくり先進事例集の作成
- ・ 防犯まちづくり活動支援システムの開発・普及
- ・ 防犯性改善のためのガイドラインづくり